

グローバルMICE戦略都市・福岡

公益財団法人福岡アジア都市研究所
情報戦略室

情報戦略室は、福岡の成長ポテンシャルを広く世界へ発信する「Fukuoka Growth」を福岡アジア都市研究所のホームページ内で、月2回発行しています。世界の人が「福岡」に気付き、関心を持ち、福岡でさまざまな活動を行うきっかけづくりになることを目指しています。

「グローバルMICE戦略都市」として

福岡市は、国の「グローバルMICE戦略都市」に選ばれました。東京都、横浜市、京都市、神戸市とともに、国内5自治体が、MICE(※1)の国際的な誘致競争における戦略拠点、国の代表として、集中的な支援や自立的な取り組みを進めていくこととなります。

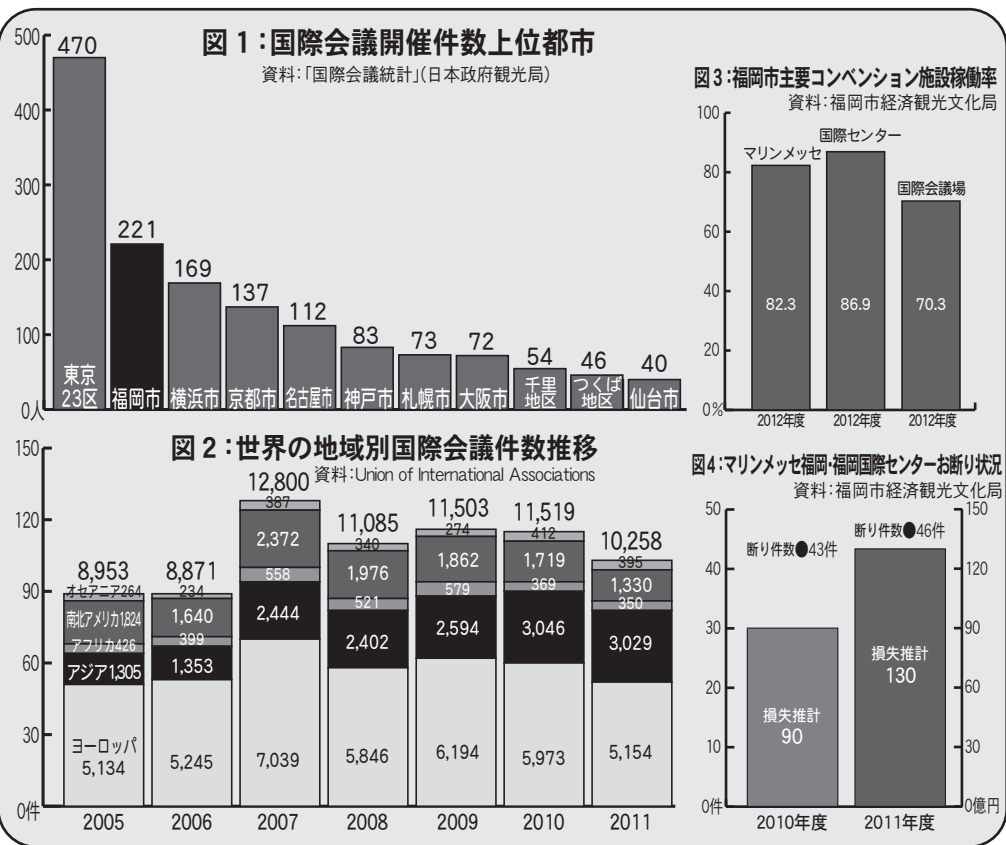
福岡市は、古代から国際文化交流都市として、海外からの来訪者を「おもてなし」してきました。今日、国際会議開催件数が東京に次ぐ第2位の実績を有しており(図1)、「グローバルMICE戦略都市」として、福岡市のアイデンティティをさらに確立していかなければなりません。世界のMICEは、欧州中心からアジアシフトが顕著で(図2)、中国をはじめとしたアジア各国・地域の都市は、10万㎡を超える大規模なMICE施設を設けて着々

と受入を進めています。福岡市は、アジアの各都市に、国内では最も近く、他の選定都市以上に「アジア」を意識した戦略が求められます。アジアに近いことは、誘致の面では厳しい競争環境にある一方、連携という面では大きな強みです。MICEは人の流動・交流が大前提にあり、地理的、時間的な近接性は、大きなアドバンテージです。

産学官民での「おもてなし」、オール九州の連携で

MICEは、一過性のイベントでなく、世界と地域、市民らをつなぐ契機となり、産業界、学術・研究機関等との関わりが広がることで、開催後も経済波及効果や市民の意識、知識の向上などの効果が地域にもたらされます。

福岡市の既存施設は、稼働率が限界に近く(図3)、年間相当数のMICEの開催をお断りしている状況で



す(図4)。機会損失をなくすためにも受入体制の強化を進めていかなければなりません。

MICEの誘致では、開催都市の魅力を訴求することは重要ですが、世界の参加者が求めるMICE参加決定要因は、「ネットワーキングの質」「分野の最新動向」「重要人物との交流機会」など、自身のビジネスや研究活動に有益かどうか重要視される傾向にあります(※2)。

誘致窓口機能や国際機関等との関係強化に加え、海外の参加者にとって有益なMICEとするために、産業界、大学等研究機関との密接な連携で、国内の人材やビジネスのネットワーキング環境を整えることも誘致に効果を発揮します。

さらに、受入体制の強化として、多様な強みを持つ九州全体での連携や、来訪者に対する多言語対応の充実、市民も含めたおもてなし意識を高めることなども必要となります。(福岡アジア都市研究所 情報戦略室 島山 尚久)

※1: 会議(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の略称
※2: Convention 2020 - The Future of Exhibitions, Meetings and Events (Rohit Talwar, Tim Hancock)